

日本図書館情報学会
会 長 小田 光宏
第 62 回研究大会実行委員会
事務局 瀬戸口誠・中島幸子

第62回日本図書館情報学会研究大会・臨時総会

ご案内

会員の皆さまにおかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、先の「会報 (No. 154)」にてご案内申し上げましたように、第 62 回日本図書館情報学会研究大会・臨時総会を下記の要領で開催いたします。

昨今、図書館界では大きな変化が生じています。図書館が扱う資料面では、電子書籍や電子ジャーナルの提供があります。また、図書館の制度面では、学校図書館法の改正による学校司書の法制化などがあります。これらの変化に着実に対応していくには、図書館情報学の研究が不可欠です。

そうしたなか、第 62 回研究大会では、合計 48 件の研究発表申し込みがありました。第一線の研究者から若手大学院生まで、多彩な層・領域からの発表であり、図書館情報学の最新の研究動向に接する重要な機会になると考えております。

また、大会第 2 日目の午後には、一般公開シンポジウム「学びの空間デザインとファシリテーション～図書館を活用した学習支援を考える～」を開催いたします。

なお、大会初日の研究発表終了後、会場となる梅花女子大学キャンパス内の学生会館 3 階食堂にて、懇親の場を設けます。ぜひご参加いただき、会員同士の交流の場、意見交換の場としてご活用下さい。

研究大会の案内は、日本図書館情報学会のウェブサイト (<http://www.jslis.jp/>) からご覧いただけます。大会に関わる最新の情報やニュース等もウェブサイトに掲載されますので、併せてご参照ください。

記

1. 開催概要

日 時： 2014 年 11 月 29 日 (土)、30 日 (日)

会 場： 梅花女子大学 山草館 F 棟 (大阪府茨木市宿久庄 2-19-5)

学会ウェブサイト：<http://www.jslis.jp/> もご参照ください。

2. 日 程

【第 1 日】 11 月 29 日 (土)

- 11:00— 受付 (山草館 F 棟 1 階 入口)
(会報でお知らせした時間より 1 時間早くとなっております)
- 11:45—11:55 開会式 (7 階 701 教室)
- 12:00—17:45 研究発表 (7 階 701 室, 702 教室, 1 階 101 教室)
- 18:00—20:00 懇親会 (学生会館 3 階食堂)

【第2日】 11月30日（日）

- 9:00— 受付（山草館F棟1階 入口）
9:30—12:00 研究発表（7階 701教室, 702教室, 1階 101教室）
12:00—13:30 昼食／理事会（2階）
13:30—14:30 臨時総会・学会賞授与式（7階 701教室）
14:40—17:00 シンポジウム（7階 701教室）
17:00—17:10 閉会式（7階 701教室）

3. 申込み要領

(1) 参加費・懇親会費

	参加費	懇親会費
正会員, 賛助会員にご所属の方	2,000 円	5,000 円
学生会員	0 円	
非会員	4,000 円	

* 今回の研究大会では, 学会からの特別補助により, 参加費が割引になっています。

(2) 参加申込み・振込

同封の「郵便振替用紙」にご記入いただき, 11月20日(木)までに, 参加費, 懇親会費等をお振込ください(別途, 振込料金が必要です)。お振込を「申込み」とみなします。

ただし, 学生会員の方で, お振込の必要がない方は, 学会のウェブサイトから参加申込みをしてください。

学会ウェブサイト: <http://www.jslis.jp/>

なお, 研究大会当日に参加者名簿を配布する予定です。お名前, ご所属の掲載を希望されない方は, 振替用紙の「通信欄」にひと言, その旨をお書き添えください。

口座番号:振替口座 00930-6-329735(ゆうちょ銀行以外からの振込口座 099 当座 0329735) 加入者名:日本図書館情報学会第62回研究大会実行委

(3) 資料の申込み

研究大会に参加されない方で, 資料(『研究大会発表要綱』)のみをご希望の方は, 「郵便振替用紙」の該当欄にチェックし, 2,000 円(送料込)をお振込ください。研究大会終了後, 入金を確認したうえで, 送付いたします。

(4) 昼食

ご希望の方に第2日目のお弁当を用意いたします。ご入用の方は「郵便振替用紙」の昼食欄にチェックのうえ, 代金 1,000 円をお振込みください。なお, 大学内の食堂や売店は営業していません。また, 近隣の食堂等まで距離がありますので, お弁当を希望されない場合は各自でご用意ください。

(5) 宿泊

宿泊の手配は, 各自でお願いいたします。

4. 研究発表

第1日 11月29日(土) 山草館F棟

受 付(1階エントランスホール)			
開会式(701教室)			
	第1会場(701教室)	第2会場(702教室)	第3会場(101教室)
11:00~			
11:45~11:55			
12:00~12:30	青柳英治(明治大学) 職務経歴からとらえた専門図書館職員のキャリア形成の変化のプロセス:知識・技術を構成する要素をもとに	對崎奈美子(東京学芸大学) 徳田悦子(東京学芸大学) デジタル時代に対応する学校図書館のあり方を問う:全国400市区町村教育委員会学校図書館担当指導主事への調査	水沼友宏(筑波大学大学院) 辻慶太(筑波大学) 指定管理者制度導入館と直営館の現況比較:レファレンスサービスを中心として
12:30~13:00	宮原志津子(相模女子大学) 河村俊太郎(愛知淑徳大学) 安井一徳(会計検査院) 古賀崇(天理大学) 吉田右子(筑波大学) 専門課程における図書館情報学教育の展開	畔田暁子(筑波大学大学院) 鈴木佳苗(筑波大学) 平久江祐司(筑波大学) 中学校美術科の鑑賞学習における図書館の利用に関する調査	佐々木美緒(政策研究大学院大学) 公共図書館における課題解決支援サービスの実践:市町村立図書館調査から
13:00~13:30	武井千寿子(筑波大学大学院) 芳鐘冬樹(筑波大学) 逸村裕(筑波大学) 研究の学際性に影響を与える要因:図書館情報学分野を対象に	江竜珠緒(筑波大学大学院) 学習支援における学校図書館専門職員と教員との連携:役割・職務関係の分析を基に	呑海沙織(筑波大学) 溝上智恵子(筑波大学) カナダの公共図書館におけるコミュニティ主導型の高齢者サービス
13:30~14:00	浅石卓真(東京大学大学院) 影浦峯(東京大学) 根本彰(東京大学) 図書館情報学検定試験の結果分析	永利和則(筑波大学大学院) 学校図書館支援センター推進事業の成果と課題	橋本磨美(筑波大学大学院) 1990年代後半以降におけるアメリカ連邦政府の図書館政策:図書館サービス技術法に基づく補助金政策の動向
14:00~14:30	山田翔平(東京大学大学院) 志村瑠璃(東京大学大学院) 影浦峯(東京大学) 戸田慎一(東洋大学社会学部) 海野敏(東洋大学社会学部) 知識を記述する文字記号の図書の紙面における表れ方及びその経年的変化:戦後ベストセラーを対象にして	吉澤小百合(筑波大学情報学群) 平久江祐司(筑波大学) 学習支援に関する司書教諭と学校司書の職務の現状と役割意識:質問紙調査を基に	池内淳(筑波大学) 稲垣里美(東京都立図書館) トラベルコスト法を用いた公立図書館の経済価値の測定
14:30~15:00	松林正己(中部大学) 歴史研究あるいは史料分析ツールとしてのArchivGrid:現状とその展望	河西由美子(玉川大学) Kuhlthau らの"Guided Inquiry"の枠組みを援用した中学3年生の探究学習の分析	三根慎二(三重大学人文学部) 上田修一(立教大学文学部) 誰がどのくらい公共図書館を利用しているのか
15:00~15:15	休 憩		
15:15~15:45	長谷川豊祐(鶴見大学) 吉田千登世(鶴見大学) 八巻千波(鶴見大学) 菊地高志(富士通株式会社) 井出浩之(富士通株式会社) 貸出履歴の書架管理業務への活用	杉本ゆか(筑波大学大学院) 平久江祐司(筑波大学) 読書による能動的な読み手の育成:クリティカル・リーディングの可能性	石田栄美(九州大学) 宮田洋輔(帝京大学) 岩瀬梓(慶應義塾大学大学院) 南友紀子(慶應義塾大学大学院) 上田修一(立教大学) 倉田敬子(慶應義塾大学) 検索能力とその要因との関係モデル
15:45~16:15	渡邊美紀(首都大学東京) 大学図書館の選書及び貸出データに関する定量分析	中島正明(安田女子大学) 『現代読書指導事典』の内容分析	安形輝(亜細亜大学) 安形麻理(慶應義塾大学) 初期刊本の活字の識別とその応用:グーテンベルク聖書の活字のクラスタリング
16:15~16:45	史虹波(首都大学東京) 渡邊美紀(首都大学東京) 荻原咲子(首都大学東京) 機械学習による図書貸出記録データの構造解析	米谷優子(関西大学) 「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」の変遷と課題	谷口祥一(慶應義塾大学文学部) RDAモデルの再構築
16:45~17:15	佐藤翔(同志社大学) 安藤孝政(筑波大学大学院) 寺井仁(名古屋大学/JST CREST) 原田隆史(同志社大学) 逸村裕(筑波大学) ブラウジング時に人はどのように書架を見ているのか:視線追尾装置を用いた書架閲覧実験	伴周一(日本大学理工学部) 大久保尚紀(日本大学理工学部) 岡田悟志(日本大学理工学部) 学習支援・キャリア支援機能を持たせた日本大学理工学部船橋図書館の取り組みと利用状況	大谷康晴(日本女子大学) 安形輝(亜細亜大学) 池内淳(筑波大学) 大場博幸(文教大学) 代替医療を扱った本とその批判本の所蔵:日本の国立・公共・大学図書館の調査
17:15~17:45	三輪真木子(放送大学) 高橋秀明(放送大学) 仁科エミ(放送大学) 柳沼良知(放送大学) 広瀬洋子(放送大学) 秋光淳生(放送大学) 放送大学生のデジタルリテラシースキルの定着	渡邊由紀子(九州大学附属図書館) 兵藤健志(九州大学附属図書館) 大学図書館における学生協働に見る図書館職員の専門性	安形麻理(慶應義塾大学) 小島浩之(東京大学) 上田修一(立教大学) 佐野千絵(東京文化財研究所) 富善一敏(東京大学) 矢野正隆(東京大学) 日本の文書館におけるマイクロ資料の保存の現状:質問紙による公文書館と大学文書館の調査
18:00~20:00	懇親会(学生会館3階食堂)		

第2日 11月30日(日) 山草館F棟

9:00～	受付(1階エントランスホール)		
	第1会場(701教室)	第2会場(702教室)	第3会場(101教室)
9:30～10:00	鬼頭孝佳(名古屋大学文学研究科) 博物館図書室における蔵書管理の実態	山本一治(中央大学大学院) 検索インターフェースにおける統計情報のファセットの表示	青木和人(オープンデータ京都実践会) 地域情報拠点としての公共図書館へ市民参加型オープンデータイベントが果たす意義
10:00～10:30	新藤透(山形県立米沢女子短期大学) 孫誌街(山形県立米沢女子短期大学) 公共図書館における大活字本の普及と現状:東北地方を事例に	田中省作(立命館大学) 富浦洋一(九州大学) 宮崎佳典(静岡大学) 徳見道夫(九州大学) 機関リポジトリの言語資源としての活用:大学毎の部局別英語重要語彙の選定	村上孝弘(筑波大学大学院図書館情報メディア研究科/龍谷大学) 大学図書館視察委員制度の成立と展開
10:30～11:00	松戸宏予(佛教大学) 英国の大学図書館における特別支援の現状とその背景:特別支援担当と支援体制に着目して	外崎みゆき(信州大学) 海尻賢二(信州大学) 機関リポジトリ運用におけるOPAC連携検索の効果について	川瀬直人(筑波大学大学院) 雑誌記事にみる大学図書館研究に関する予備的調査
11:00～11:30	小林卓(実践女子大学) 図書館の障害者サービスの理論モデルの構築:メディア変換モデルを中心に	門口礼(久留米工業高等専門学校) 中野明(久留米工業高等専門学校) 書架整理効率化システムの開発と利用実験	仲村拓真(青山学院大学大学院) 大学図書館における利用者教育の実践に関する論点の展開:実践報告の分析を通して
11:30～12:00	植村要(立命館グローバル・イノベーション研究機構) 障害者差別解消法が求める公共図書館における電子書籍サービスについて	杉江典子(駿河台大学) 図書館利用者の館内位置情報を用いた量的分析の試み:情報探索行動の傾向の把握にむけて	井規子(筑波大学大学院) 中山伸一(筑波大学) 国立大学図書館における場としての利用状況の変化とその要因に関する考察
12:00～13:30	昼食・理事会(203教室)		
13:30～14:30	臨時総会・学会賞授与式(701教室)		
14:40～17:00	シンポジウム(701教室)		
17:00～17:10	閉会式(701教室)		

5. 臨時総会・学会賞授与式

研究大会2日目に、次の通り、臨時総会を開催いたします。また、総会の議事終了後、同会場にて2014年度学会賞・論文賞・奨励賞・学会活動貢献賞の授与式を行います。

- ・日 時: 11月30日(日)13:30～14:30
- ・会 場: 梅花女子大学山草館F棟 701 教室
- ・議 事: 1. 2014年度定例(通信)総会の議案投票結果について
2. その他

6. 第62回日本図書館情報学会研究大会シンポジウム

- ・日 時: 11月30日(日)14:40～17:00
- ・会 場: 梅花女子大学山草館F棟 701 教室
- ・テーマ: 「学びの空間デザインとファシリテーション
～図書館を活用した学習支援を考える～」
- ・趣 旨:

昨今、大学では、アクティブ・ラーニングを1つのキーワードとして、教育の転換が試みられている。大学教育のパラダイム・シフトともいわれるこの動向を簡潔に述べれば、「教育中心から学習中心へ」、「教員中心から学生中心へ」、「知識の伝達から知識の創造へ」を目指すものといえる。大学の教育・学習が変わりつつあるなか、その教育・学習を支援する図書館にも変化が生まれつつある。代表的なもの1つがラーニング・コモنزの設置、普及であろう。

ラーニング・コモنزは、学生の授業時間外の学習を促進する場として注目され、設置が進められてきた。元々、図書館が学生の学習の場であるのと同時に、学習に必要なコンテンツに隣接した場でもあるからである。ラーニング・コモنزをとおして、可動式の机やイス、ホワイトボード、PCやプロジェクタ、電子黒板といった什器が用意され、学習空間としての機能に注目が集まる一方

で、学習そのものの支援、特に、情報リテラシー教育など人的な利用者サービスの側面についての本格的な検討や実現は十分でないのではないかと指摘もある。こうした指摘は、大学図書館が長年にわたって抱え続けてきた課題の1つでもある。

そこで本シンポジウムでは、教育学、および図書館情報学の2つの学問的視点の交差から、物理的、人的側面の双方から学習空間としての図書館を学習にどのように生かすかについて検討を加えていきたい。その際、学習活動との密接な関係の中に存在する学校図書館もその射程に入れることで、これまでは研究上の接点があまらなかった2つの館種にかかわる研究成果を材料とし、本シンポジウムの趣旨である、図書館を活用した学習支援について、多様な議論を展開し、その成果を共有したいと考える。

●パネリスト (50音順)

- ・上田 信行 (同志社女子大学)
- ・河西 由美子 (玉川大学)
- ・長澤 多代 (三重大学)

●コーディネータ・司会

- ・小山 憲司 (日本大学)

7. 展示・その他

- ・日 時: 11月29日(土)~11月30日(日)の大会開催中
- ・会 場: 梅花女子大学 山草館F棟7階会議室
- ・内 容: 協賛企業等による図書館情報学関連の商品、サービス、書籍の展示、販売等

8. 会場(梅花女子大学山草館F棟)へのアクセス

①路線バスご利用の場合:15分間隔で運行しております。(所要時間は20~25分程度)

JR茨木駅(92・93・95系統)から乗車していただき、豊川一丁目で下車 徒歩10分。

92系統「阪急石橋」、93系統「豊川診療所前」、95系統「彩都西駅」

阪急バスのりば案内図とダイヤ <http://bus.hankyu.co.jp/rosen/0128.html>

時刻表 92・95系統 https://bus.hankyu.co.jp/rosen/jikoku_img/012801_2.pdf

93系統 https://bus.hankyu.co.jp/rosen/jikoku_img/012802_2.html

②スクールバスご利用の場合:(2)~(5)は29日(土)のみの運行になります。(所要時間は15~25分程度)

*バスの本数が限られております。

(スクールバス乗場)

(1)北大阪急行千里中央駅(地下鉄御堂筋線):

<http://www.baika.ac.jp/access/schoolbus/chuo.html>

(2)JR茨木駅:http://www.baika.ac.jp/access/schoolbus/jr_ibaraki.html

(3)阪急北千里駅:<http://www.baika.ac.jp/access/schoolbus/senri>

(4)阪急茨木市駅:http://www.baika.ac.jp/access/schoolbus/h_ibaraki.html

(5)阪急石橋駅:<http://www.baika.ac.jp/access/schoolbus/ishibashi.html>

*バス時刻表:<http://www.baika.ac.jp/access/timetable.html>

・懇親会に参加される場合は、帰りのスクールバスは(1)千里中央のみを運行予定です。

・通常日曜日につきましてはスクールバスを運行していません。大会2日目の30日(日)は、同封の臨時ダイヤで(1)千里中央のみを運行予定です。宿泊を予定されている会員におかれましては、十分に

ご注意ください。

③大阪モノレールご利用の場合

豊川駅下車 大学まで 2.1km 徒歩 25 分 or タクシー利用



キャンパス周辺地図



キャンパスマップ(⑩山草館F棟, ⑪学生会館)

<http://www.baika.ac.jp/aboutus/campus.html>

スクールバスのりばまでの経路

(1)飛行機ご利用の場合

伊丹空港(大阪国際空港):大阪モノレール大阪空港駅から千里中央駅まで 12 分

(2)新幹線ご利用の場合

京都駅:JR 京都線(東海道線)京都駅から茨木駅まで 25 分(快速)

新大阪駅:地下鉄御堂筋線新大阪駅から北大阪急行千里中央駅まで 13 分

第 62 回日本図書館情報学会研究大会実行委員会

事務局

〒567-8578 大阪府茨木市宿久庄 2-19-5

梅花女子大学文化表現学部情報メディア学科瀬戸口誠研究室内

E-mail : jslis2014@baika.ac.jp

TEL : 072-643-6221 (代表)